

# 「江別市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)(素案)」 に対する意見募集の結果と市の考え方

平成28年1月

## 江別市健康福祉部国保年金課

### ■意見の募集結果

募集期間	平成27年11月16日～平成27年12月15日
提出者数	4人
提出件数	14件

### ■意見に対する考え方の区分

区分	意見の反映状況
A	意見を受けて案に反映するもの
B	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
C	案に反映していないが、今後の参考等とするもの
D	案に反映しないもの
E	その他の意見

### ※特記事項

パブリックコメントの内容については、提出者の意見をできるだけ正確に表すため、人物を特定できるような固有名詞やご意見以外の記述を除き、可能な限り原文のとおり掲載しております。

【江別市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)】(素案)に関するご意見一覧】

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
1	低所得者の人は特定健診(検査)などで病気が発見された時病院に受診しなければならないが、その時一部負担が発生するため受診を控える人がある。そのような人のため、行政側で医療機関に低額無料診療をしてくれる様指導できないか。	低額無料診療につきましては、実施する医療機関側が社会福祉事業法に定められた項目のうち6つ以上の基準を満たすことが前提となります。また、厚生労働省から社会情勢等の変化に伴い、新規の認可を抑制する方向性が示されております。	E
2	市内にはいろんな団体、サークル、同好会が活動しています。その団体の開催時に職員が出かけ特定健診受診を訴えたらどうか。職員側で行きにくかったら、その代表者から受診の訴えを行ったらどうか。もっと多彩に活動している団体に働きかけてはどうか。(町内会で広報の回覧をしているが、班長は毎年の順番なのであまり積極的になれないのが実態です。)	江別市国保年金課では、平成26年度より市内の自治会を対象とした特定健康診査等推進事業を実施しております。平成28年度まで事業を継続した後は、対象団体の見直しを含めた検証を行い、更なる受診促進に努めて参りたいと考えております。また、市内の各団体やサークル等に健康教育を実施する際は、保健センターとも連携し各種健診の受診勧奨を実施しております。	B
3	国保税を引き下げ、病気になった時など、受診しやすくしてほしい。	本素案は、特定健診の受診促進や特定保健指導の利用促進を目的に策定する計画となっておりますことから、その他のご意見とさせていただきます。	E
4	高齢者の健康のため野外運動(パークゴルフ)など利用料に江別市民に補助を出してはどうか。(岩見沢市、長沼町他多くの市町村で行っています。)	本素案は、特定健診の受診促進や特定保健指導の利用促進を目的に策定する計画となっておりますことから、その他のご意見とさせていただきます。	E
5	高齢者が市外などの行事に参加しやすくするための福祉バスの復活をしてはどうか。また、交通費の補助制度の導入を検討していただきたい。	本素案は、特定健診の受診促進や特定保健指導の利用促進を目的に策定する計画となっておりますことから、その他のご意見とさせていただきます。	E
6	1、特定健診を受診しない理由として考えられること(周知方法等とは別な視点から) ① 特定健診に魅力(不振ある)を感じない。健診項目が少ない。(別オーダーするとお金がかかる) 問診が形式的で信頼できない。 ② 病気が見つかるのが怖い。病気が見つかって、病院に行くお金がなく不安だ。 ③ 自分的には健康に自信があるので必要ない。「特定健診は受診せず、自覚症状が出て初めて医療機関を受診している加入者が相当数いることが推測されます。」 ④ 健康保険税が払えなくて「資格証明書」しかもらえてないので受診できない。	①特定健診は、生活習慣病予防のためメタボリックシンドロームに着目した健診内容となっております。検査項目・問診内容等につきましては、厚生労働省より一定の指針が示されており、それに基づき実施しております。 ②、③特定健診受診により生活習慣病の早期治療や重症化を予防することは、国民健康保険加入者の治療にかかる自己負担を抑制する上でも有効な手段です。また、新規生活習慣病発症者の70%以上が、特定健診未受診という分析結果となっておりますことから、引き続き受診しやすい環境整備や受診勧奨を進めて参りたいと考えております。 ④特定健診は、被保険者資格証明書および短期被保険者証に該当される方の受診も可能となっております。	D

【江別市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)】(素案)に関するご意見一覧】

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
7	<p>2、受診しない理由に対応するために</p> <p>① 無料の検診項目を増やす。</p> <p>② 問診は各検査結果にもとづき行なう。当日の本人からの聞き取りを含め後日文書で考察を知らせるなどやり方を再検討する。</p> <p>③ 特定検診で発見された疾病については、治療費の自己負担の減免など、窓口負担の軽減を検討する。</p> <p>④ 医療費を削減できれば保険税の減免、分割納入などで保険税の引下げを検討できるので、納税課窓口と連携して特定検診を勧める。</p> <p>⑤ 保護課と連携して生活保護受給者に対してケースワーカーの生活相談で受診を勧める。</p>	<p>①江別市国民健康保険の特定健診では、平成26年度より40歳及び65歳の方を節目年齢とし受診料自己負担を無料としておりますが、今後も検討を重ね受診率の向上に努めて参ります。</p> <p>②特定健診の質問(問診)は、特定健診の必須項目のひとつとして厚生労働省から示されており、それに基づき実施しております。検査結果につきましては、従来通りご本人へ通知させていただくとともに、治療が必要な場合等につきましても、保健師等のコメントを付記するなど分かり易い内容に努めて参ります。</p> <p>③他の健診や一般診療にて疾病が発見された場合、加入者ご本人が治療費を負担されるのが通常であるため、特定健診で発見された治療費負担のみを軽減することは、公平性の観点からも困難であると考えております。</p> <p>④国保税の分割納付等につきましては、納税課にて対応をしておりますが、健診のお知らせを窓口を設置するなど勧奨についても検討して参ります。</p> <p>⑤生活保護を受給されている方につきましては、毎年3月末の保護課発送書類に健康診査のリーフレットを同封しているほか、過去の医療機関受診状況を確認し、内科系疾患による受診の無い40歳以上の方に対して、健康診査の受診勧奨を平成27年度より実施しております。</p>	D
8	<p>特定健診を定期的にかつ、継続的に受診することは、本人の健康寿命をのばすことであり、地域にとっても活力ある豊かなコミュニティを発展させることにもなります。加えて、江別市の国保財政にとっても年々増え続ける医療費抑制にもつながり、財政健全化にも寄与することにもなります。</p> <p>市としても受診のさらなる啓蒙はもとより、一段の工夫も必要かと思えます。受診料金の助成とともに、受診者になんらかの褒賞制度を設け、安価な物でも良いので使い便利が良く少し目立つような健康グッズでも提供するのはいかがでしょうか。口コミで広がり市民の健康意識が高まることに期待するものです。</p>	<p>特定健診の継続的な受診は、江別市国民健康保険の健全運営に寄与することはもとより、ご本人の健康維持・増進や負担される医療費を抑制するうえでも重要であると考えております。健康意識を高めるためのご提案につきましては、今後の保健事業を実施する上での参考とさせていただきます。</p>	C

「江別市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)」(素案)に関するご意見一覧】

No.	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	意見の反映状況
9	<p>健診受診率の向上と共にその後の保健指導も欠かせません。市も積極的に行っていますが、現状は希望者だけの様で、受診者全員を町内会単位、あるいは諸々の団体単位などで健診結果の講習などを開催するのも一考ではないかと思ます。</p>	<p>健診受診後の特定保健指導は、受診結果が一定の基準値を超えている方に対して実施するものとなっておりますが、健診結果がわかりやすく説明されたパンフレットを結果通知に同封して受診者全員へ送付しております。健診結果により生活習慣の改善が必要または、医療機関への受診が必要な方につきましては、個別に保健指導を実施しております。また、「健診結果の見方」を出前講座のテーマに設定し、各種団体向けに講座を実施しておりますが、今後も更に多くの方に向け健康や健診についての啓発を行って参ります。</p>	C
10	<p>江別市の実態はわかりませんが、札幌市の資料によると、全国的に国保加入者の4割が年金生活者、3割が非正規労働者であり、加入者の貧困化と高すぎる保険料ということに国保制度の矛盾を感じます。国も年間3,400億円を国保に投入することになっております。加入者の軽減措置などに江別市も積極的に活用していただきたい。</p>	<p>本素案は、特定健診の受診促進や特定保健指導の利用促進を目的に策定する計画となっておりますことから、その他のご意見とさせていただきます。</p>	E
11	<p>江別市国民健康保険の特性、江別市の健康課題については、非常にきめ細かく分析されており、用語についての注記があるなど、この種の計画では分かりやすいものになっているが、なお、医療専門用語では理解し難いものが多いので、注記や解説を増やして分かりやすいものにしてほしい。(例えば、「レセプト」「メタボリックシンドローム」「第1号被保険者と第2号被保険者のちがい」「平均寿命と健康寿命との相違」など、説明がなければ分からないものが多く見受けられる。)</p>	<p>計画における各用語につきましては、ご意見にて例示いただいた語句を含め、注記や解説の追加を検討するなど、分かり易い内容となるよう努めて参ります。</p>	A
12	<p>(計画素案の)4. 江別市の健康課題の1)医療情報の分析における主病別医療費順位で、その他が72.54%、主病別レセプト件数順位では、その他が83.02%と、その他の構成比が極めて高く、この中の解析もなければ、計画目標につながる正しい分析とはならない。その他の内容解明と、そこから導かれる課題を明らかにし、計画における保健事業の実施内容に反映させる必要がある。</p>	<p>本計画は、厚生労働省が示す保健事業実施計画策定における手引に準じて策定を進めております。手引にあります計画の趣旨が、被保険者の健康保持・増進並びに医療費の適正化を実施するため、生活習慣病の予防や早期治療を目的とした保健事業の実施計画となっております。そのため、それらの疾患に関する医療情報の分析結果に焦点を当てた内容となっております。</p>	C
13	<p>課題に対応した目標の設定においては、目標の設定が抽象的で方向性はある程度分かるが、目標値(数的指標)が全くなく、どこまでどうするのかの目標が不明である。できるだけ目標数値を示し、市民との共通情報、共通理解にすることが計画の効果的な推進に必要である。</p>	<p>本計画につきましては、いただいたご意見を参考とし、各目標における具体的な数値指標を設定のうえ策定を進めて参ります。</p>	A
14	<p>この計画はその内容から言って、江別市国民健康保険運営協議会に説明し、検討されるべきものであるが、どう扱われるのかを明らかにすべきである。また、国民健康保険事業は、今後、都道府県が運営することになっている。これを見据えた計画であるのか否かを市民に示すべきである。</p>	<p>本計画につきましては、江別市国民健康保険運営協議会にて計画の趣旨説明を行い、各委員から素案に対する意見も伺っております。今後も計画策定状況等について運営協議会へ報告を行っていきたいと考えております。また、ご意見にありましたとおり、各都道府県が国民健康保険を運営する広域化を見据えた計画となっております。</p>	C